

東京国際ナショナル ギフト・ショー<sup>®</sup> #2020  
The 7th **LIFE × DESIGN**  
暮らしデザイン 新時代



LIFESTYLE, DESIGN, NEW ERA  
RENOVATION ZONE  
LIFE STYLING  
NIPPON BRAND FAIR  
ACTIVE DESIGN & CRAFT FAIR  
ACTIVE CREATORS  
GEMMING  
ART GALLERY  
RENOVATION & FURNITURE  
SOZAI

会期

2020年 2月5日(水) 6日(木) 7日(金)  
10:00 ~ 18:00(最終日は17:00まで)

テーマ

暮らし デザイン 新時代  
ACTIVE DESIGN, ACTIVE LIFE PART II

会場

東京ビッグサイト  
青海展示棟  
東京都江東区青海 1-2-33

同時開催

The 74nd  
**ACTIVE DESIGN & CRAFT FAIR**  
SPRING 2020  
**ACTIVE CREATORS**

ご来場のお問い合わせはこちらから

[www.giftshow.co.jp](http://www.giftshow.co.jp)

主催: (株) ビジネスガイド社

国際ナショナル・ギフト・ショー事務局

〒111-0034 東京都台東区雷門2-6-2 ぎふとビル

TEL: 03-3843-9711(直)

FAX: 03-3843-9850

第59回日本クラフト展・親子ふれあいワークショップは、競輪の補助を受けて実施します。

**KEIRIN**



地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、  
ものづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、  
社会に役立つ活動を応援しています。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp>

Craft Design Vol.28 2020.1

JCDA

JAPAN CRAFT DESIGN ASSOCIATION  
TEL: 03-6455-5533 FAX: 03-6455-5534

408-5-15 Sendagaya 4, Shibuya-Ku, Tokyo 151-0051, JAPAN  
Info@craft.or.jp http://www.craft.or.jp/

発行人: 岡 英司

公益社団法人 日本クラフトデザイン協会  
151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-15 ストックメイジ408

# Craft Design

2020.1  
Vol.28

公益社団法人日本クラフトデザイン協会

JAPAN CRAFT DESIGN ASSOCIATION

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-15 ストックメイジ 408

TEL: 03-6455-5533 FAX: 03-6455-5534

info@craft.or.jp http://www.craft.or.jp/

日本クラフト展審査会 .....	1
第59回日本クラフト展 -STORY-	
親子ふれあいワークショップ .....	2
JCDA Kurashiki Meeting 2019 .....	3
東京国立近代美術館工芸館・JCDA 研究会 .....	5
JCDA 島根研修会(松江・出雲) .....	7
クラフトデザイン展 IN 島根 .....	8
D-8 JDM 構想 研究発表会 in 金沢 .....	9
MEMBER'S NEWS 新会員紹介 .....	10

JCDA



# 親子ふれあいワークショップ 「織りもの体験 描いた絵からコースターを作ろう」

実施日:2019年8月19日(月)

会場: 3×3 Lab Future

東京都千代田区大手町1-1-2 大手門タワー・JXビル1F

水玉・虹色ボーダーなどのデザイン模様、木々の間の鳥・太陽の下の犬などの物語風の模様、人気のキャラクター模様。

今回のワークショップでは、白布に布描きクレヨンで絵を描くところから始めました。いきなり描き始める子、紙に鉛筆で下書きを何度も繰り返す子、と進み具合がまちまちでしたが、40分程で色とりどりの鮮やかなものからモノトーンのシンプルなものまで、様々な絵模様が並びました。

その描画布をアイロンで色を定着させた後、布に描いた絵を細くカットして「よこ糸」にします。絵を描く前にあらかじめ自分の選んだ色糸を厚紙に張って「たて糸」を準備しておきます。「たて糸」に「よこ糸」を1本ずつ、絵の順番を間違えないように、自分の手で織り込んで徐々に完成させていきます。ばらばらの「よこ糸」になった絵が「たて糸」に通してもう一度絵になっていく様子は、作業している大人や子どもたちに加え、見ているスタッフの私たちまで楽しくなってきます。

最後クレヨンがついた指先で、コースターを持って写真撮影に並ぶ参加者の皆さんの顔はとても満足そうで、撮影するスタッフの「イチタス イチハ？」の合図にも元気に「にーっ!」と返していました。

このワークショップでは参加者にとってもうひとつ、素敵な出来事がありました。外部講師としてお招きした秩父市地域おこし協力隊の関

川亜佐子先生が秩父銘仙の単着物を身につけていらしてくださいましたのです。その綺麗な出で立ちにうっとりしながら銘仙の歴史や制作過程の話を聞き繭玉も触らせてもらい、織物への関心が十分に高まったところで制作に入れました。もともとこのワークショップの内容は、絵模様を活かした「ほぐし織」をヒントに考えたものでしたので、「ほぐし織」を特徴とする秩父銘仙の話を聞いてから制作をおこなえたことは、参加者だけでなくスタッフにとっても大変貴重な経験となりました。

正会員 吉谷美世子



**KEIRIN**  
00

第59回日本クラフト展  
親子ふれあいワークショップは、  
競輪の補助を受けて実施しています。